

大学番号：私115

注3

[平成20年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

認可

秀明大学 学校教師学部 中等教育教員養成課程

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 秀明学園
平成23年5月1日現在

作成担当者

大学事務局

事務局長 オオ シロ ヨシ ノリ
大 城 嘉 規

電話番号 047-488-2111

(夜間) 047-488-2110

F A X 047-488-8290

e-mail oshiro@adm.shumei-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は認可時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に
()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

ヒョウダイ ケイカク クブン シタガ キニョウ
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

「意見伺い」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	13
6. 留意事項に対する履行状況等	20
7. その他全般的事項	22

<添付書類>

学校教師学部自己点検評価報告書（平成23年4月）

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 秀明学園

(2) 大学名

秀明大学

(3) 大学の位置

〒276-0003
千葉県八千代市大学町一丁目1番1号
(埼玉県川越市大字笠幡字川向4792番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
理事長	(カワシマ コウキ) 川島幸希 (平成4年4月5日)	変更なし	
学長	(ヨシカワ コウジ) 吉川幸次 (平成13年9月5日)	変更なし	
学部長	(カベ ヨシノブ) 嘉部好修 (平成20年4月1日)	(コンドウ コウイチ) 近藤公一 (平成22年4月1日)	嘉部好修が脳梗塞により入院。職場復帰が困難と診断されたため。(22)
学科長等	なし	変更なし	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 → (19)

平成22年度に報告する内容 → (22)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
学校教師学部 中等教育教員養成課程 学士(教育学)	4年	250人	0人 年次人	1,000人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	250人 250 (0) [-]	0人 0 (0) [-]	250人 250 (0) [-]	0人 0 (0) [-]	250人 250 (0) [-]	0人 0 (0) [-]	250人 250 (0) [-]	0人 0 (0) [-]	0.41倍	
志願者数	190 (0) [-]	0 (0) [-]	220 (0) [-]	0 (0) [-]	287 (0) [-]	0 (0) [-]	269 (0) [-]	0 (0) [-]		
受験者数	186 (0) [-]	0 (0) [-]	217 (0) [-]	0 (0) [-]	276 (0) [-]	0 (0) [-]	258 (0) [-]	0 (0) [-]		
合格者数	110 (0) [-]	0 (0) [-]	150 (0) [-]	0 (0) [-]	206 (0) [-]	0 (0) [-]	184 (0) [-]	0 (0) [-]		
B 入学者数	67 (0) [-]	0 (0) [-]	102 (0) [-]	0 (0) [-]	137 (0) [-]	0 (0) [-]	119 (0) [-]	0 (0) [-]		
入学定員超過率 B/A	0.26		0.40		0.54		0.47			

- (注) ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 67	[-] 0	[-] 102	[-] 0	[-] 137	[-] 0	[-] 119	[-] 0	転学部により平成21年度2年次3名増員(21)
2年次	/		[-] 70	[-] 0	[-] 98	[-] 0	[-] 130	[-] 0	
3年次	/		/		[-] 70	[-] 0	[-] 97	[-] 0	
4年次	/		/		/		[-] 70	[-] 0	
計	[-] 67	[-]	[-] 172	[-]	[-] 305	[-]	[-] 416	[-]	

(注) ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
- ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
- ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [0]	0.60%
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 71人	
(主な退学理由) ・教職から福祉関係への進路変更による退学 1人			
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [0]	0.60%
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 70人	
	うち平成21年度入学者 4人	うち平成21年度 102人	
(主な退学理由) ・家庭の事情による退学 2人 ・進路変更による退学 1人 ・その他(本学他学部への転部) 1人			
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [0]	%
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 70人	
	うち平成21年度入学者 1人	うち平成21年度 98人	
	うち平成22年度入学者 8人	うち平成22年度 137人	
(主な退学理由) ・他の教育機関への入学 3人 ・修学意欲の低下 2人 ・就職 2人 ・その他(本学他学部への転部) 2人			

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般科目	哲学概論	1・2・3後		2		1					
	倫理学概論	1・2・3前		2		1					
	心理学概論	1前・2前・3前		2							
	宗教と人間	1前・2前・3前		2							
	日本国憲法	1前・後	2				1				
	日本文化論(茶道)	2前・後	2								
	国際関係論	1・2・3後		2							平成23年3月
	時事問題研究	1・2・3前		2					1		島田範正兼担教授退職のため担当者変更(23)
	比較文化論	1・2・3前・後		2							担当 岩田温(助教)
	文化人類学	1・2・3後		2							平成22年8月 教員審査済 判定可(23)
	国語表現法	1・2・3前・後		2			1				
	名著講読	1・2・3前		2		1					
	音楽文化論	1・2・3前・後		2							
	美術文化論	1・2・3後		2							
	環境と人間	1・2・3前		2		1					
	生命の科学	1・2・3後		2		1					
	エネルギーと環境	1・2・3前		2							
	宇宙地球科学	1・2・3後		2			1				
	食生活と健康	1・2・3後		2							
	くらしの化学	1・2・3後		2			1	1			田中元専任教員昇格審査(講師から准教授へ)のため職位変更 平成23年7月 提出予定(23)
数 学	1・2・3前		2								
専門科目	教職概論	1前	2			1					
	教育基礎論	1前・後	2					1			
	日本教育史	2・3・4前		2							
	教育行政学	1後	2			1					
	教育心理学	1前・後	2				1	1			平成22年7月 花屋哲郎講師変更書提出
	発達心理学	2・3・4前		2			1	1			昇格審査(准教授への職位変更) 可(23)
	教育課程論	2前・後	2								
	教育の方法と技術	3前・後	2								
	道徳教育の研究	2前・後	2								
	特別活動の理論と方法	3前・後	2			1					嘉部好修専任教授辞任により、非常勤講師を担当に配置(22)
	生徒指導・進路指導の理論と方法	2前・後	2				1	1			平成22年7月 花屋哲郎講師変更書提出
	教育相談・カウンセリングの理論と方法	3前・後	2				1	1			昇格審査(准教授への職位変更) 可(23)
	教職実践演習	4後									教職課程の科目変更により、科目名を変更(22)
	教職総合演習	—2—	2			1					嘉部好修専任教授辞任により、兼担教員を担当に配置(22)
	教育実習事前事後指導	3・4前・後	1			1					
	教育実習	4前・後	4			1					
	福祉教育論	2前・後	2								
	青年心理と非行の心理	2・3・4前		2							
	発達障害児の心と行動	2・3・4後		2							
	環境教育論	2・3・4前		2				1			
教育実践演習Ⅰ	1前・後	1			1						
教育実践演習Ⅱ	2前・後	1			1						
教育実践演習Ⅲ	3前・後	2			1						
海外教育研究	2・3・4前		2					1			
性教育概論	2・3・4後		2		1						
教育時事問題研究	2・3・4前・後		2		1						
生徒指導事例研究	2・3・4前		2		1						

授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	学級経営の理論と方法	2・3・4前・後		2		1					横溝博専任講師辞任により、 非常勤講師を担当に配置 (22)	
	教育コミュニケーション論	2・3・4後		2		1						
	卒業論文	4前・後		4		9	4					
	国語学概論	1前・後	4									
	国語学演習	2・3・4前		2								
	現代日本語学概論	2・3・4前		2			1					
	現代日本語学演習	2・3・4後		2			1					
	文章表現法	2・3・4前		2			1					
	音声表現法	2・3・4後		2								
	国文学概論	3前・後	4						1			
	国文学演習	2・3・4後		2					1			
	国文学講読	2・3・4前		2					1			
	漢文学概論	2前・後	4									
	漢文学講読	2・3・4前		2								
	書写	1前	2									
	国語科教育法	2前・後	4				1					
	国語科教材研究	3前	2				1					
	国語科授業研究	3後	2				1					
	日本史概説	1前・後	4				1					
	外国史概説	2前・後	4				1	1	1		教育課程の充実を図るため、 教員を追加 (21) 〔担当 近藤 公一 (教授) 平成20年7月 教員審査済 判定可 (21) 藤井真生専任教員昇格審査(講師から准教授へ) のため職位変更 平成23年7月提出予定 (23)	
	日本史演習	2・3・4後		2			1					
	外国史演習	2・3・4前		2			1	1	1		教育課程の充実を図るため、 教員を追加 (21) 〔担当 近藤 公一 (教授) 平成20年7月 教員審査済 判定可 (21) 藤井真生専任教員昇格審査(講師から准教授へ) のため職位変更 平成23年7月提出予定 (23)	
	人文地理学概説	1前	2									
	自然地理学概説	2後	2						1			
	地誌学概説	2後	2						1			
	人文地理学演習	2・3・4後		2								
	自然地理学演習	2・3・4後		2					1			
地誌学演習	2・3・4後		2					1				
法学演習	2・3・4後		2				1					
政治学演習	2・3・4後		2				1					
経済学演習	2・3・4後		2									
倫理学演習	2・3・4前		2			1						
社会科・地歴科教育法	3前・後	4				1						
社会科・公民科教育法	3前・後	4										
代数学概論	1前・後	4					1	1		西村治専任教員昇格審査(講師から准教授へ) のため職位変更 平成23年7月提出予定 (23)		
代数学演習	2・3・4前		2					1				
幾何学概論	2前・後	4					1	1		西村治専任教員昇格審査(講師から准教授へ) のため職位変更 平成23年7月提出予定 (23)		
幾何学演習	2・3・4後		2					1				

授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
位相幾何学概論	2・3・4前		2			1	1			西村治専任教員昇格審査（講師から准教授へ） のため職位変更 平成23年7月提出予定（23）
位相幾何学演習	2・3・4後		2			1	1			
解析学概論	3前・後	4			1					
解析学演習	2・3・4前		2		1					
専門科目	微分積分学	2・3・4後		2						嘉部好修専任教授辞任により、 兼担教員を担当に配置（22）
	確率論	1前	2			1				
	統計学	3後	2			1				
	コンピュータ概論	2前・後	4							
	構造化プログラミング	2・3・4前		2				1		
	数値計算プログラム	2・3・4後		2				1		
	数学科教育法	2前・後	4			1				
	数学科教材研究	3前	2			1				
	数学科授業研究	3後	2			1				
	物理学概説	1後	2				1			
	物理学演習	2・3・4前		2			1			
	力学	2・3・4前		2			1			
	電磁気学	2・3・4後		2			1			
	物理学実験	2後	2				1			
	化学概説	1前	2				1	1		
	化学演習	2・3・4後		2			1	1		
	無機化学	2・3・4前		2			1	1		
	有機化学	2・3・4後		2			1	1		
	化学実験	2前	2				1	1		
	生物学概説	1前・後	2			1				
	生物学演習	2・3・4前		2		1				
	分子と細胞の生物学	2・3・4後		2		1				
	環境生物学	2・3・4後		2		1				
	生物学実験	3後	2					1		
	地学概説	1後	2							
	地学演習	2・3・4後		2						
	惑星物理学	2・3・4後		2			1			
	地質鉱物学	2・3・4前		2						
	地学実験	3前	2							
	理科教育法	2前・後	4					1		
	理科教材研究	3前	2					1		
	理科授業研究	3後	2					1		
	英語学概論	2前・後	4					1		
英語意味論	2・3・4後		2							
英語音声学	2・3・4前		2							
英語史	2・3・4前		2				1			
英文法概論	2・3・4前		2		1					
英米文学概論	3前・後	4					1			
英米文学史	2・3・4後		2				1			
原書講読	2・3・4後		2		1					
英語スピーチコミュニケーション論	1前・後	4								
インターネット英語	2・3・4後		2							
英語ディベート	2・3・4前・後		2							
時事英語	2・3・4前		2				1			
異文化理解概論	1前	2								
異文化コミュニケーション論	2・3・4後		2							
比較地域圏研究(フランス)	2・3・4前・後		4							
									平成23年3月 梅谷泰子専任講師他大学就任のため退職（23） 担当を兼任講師に変更（23）	
									平成23年3月 梅谷泰子専任講師他大学就任のため退職（23） 後任未定 後期開講予定 教員公募中（23）	

授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	比較地域圏研究(ドイツ)	2・3・4前・後		4							
専門科目	英語科教育法	2前・後	4								
	英語科教材研究	3前	2			1					
	英語科授業研究	3前	2			1					

(注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。

・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。

なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)

・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。

・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
69	108	0	177	69	108	0	177	
				[]	[]	[]	[]	

- (注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目」の計の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	敷地面積150,372.34㎡ から寄宿舍1,097.53 ㎡、駐車場1,260㎡を 除く校地面積		
	校 舎 敷 地	76,684.55 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	76,684.55 ㎡			
	運 動 場 用 地	69,522.04 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	69,522.04 ㎡			
	小 計	146,206.59 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	146,206.59 ㎡			
	そ の 他	1,808.22 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	1,808.22 ㎡			
	合 計	148,014.81 ㎡	0.00 ㎡	0.00 ㎡	148,014.81 ㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	平成20年4月 新築校舎の塔屋をハッ チに変更したため⑳		
		15,904.54 ㎡ 15,914.94 ㎡ (15,904.54 ㎡) (15,914.94 ㎡)	0.00 ㎡ (0.00 ㎡)	0.00 ㎡ (0.00 ㎡)	15,904.54 ㎡ 15,914.94 ㎡ (15,904.54 ㎡) (15,914.94 ㎡)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	設置学部全体		
	21 室	24 室	4 室	3 室 (補助職員 1 人)	1 室 (補助職員 1 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		設置学部全体 平成21年4月専任教員 を新規採用のため (21)		
	学校教師学部 中等教育教員養成課程			33 室 29 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体での共用分 図書57,190冊 (11,496) 冊 学術雑誌4種 (2種) 視聴覚資料750点
	学校教師学部 中等教育教員養成 課程	4,500 [500] (4,500 [500])	45 [15] (45 [15])	1 [1] (1 [1])	50 (50)	7,976 (7,976)	137 (137)	
	計	4,500 [500] (4,500 [500])	45 [15] (45 [15])	1 [1] (1 [1])	50 (50)	7,976 (7,976)	137 (137)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 平成20年8月 蔵書増加のため (21)	
	1,589.88 ㎡		192 席		146,000 冊 130,000 冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	1,579.65 ㎡		運動場、テニスコート、バスケットコート					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費にはデータベ ースの整備費を含む。
	教員1人当り研究費等	130千円	130千円	図書購入費	29,873千円	3,450千円	3,450千円	
	共同研究費等	2,000千円	2,000千円	設備購入費	370,472千円	5,000千円	5,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,268千円	第2年次 968千円	第3年次 968千円	第4年次 968千円	第5年次 —千円	第6年次 —千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		該当なし					

- (注) ・ 設置認可時の計画を、認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	秀明大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
総合経営学部									
企業経営学科	4	90	0	360	学士（経営学）	1.12	平成13年度	千葉県八千代市大学町一丁目1番1号	
生活経営学科	4	—	—	—	学士（経営学）	—	平成13年度	千葉県八千代市大学町一丁目1番1号	平成18年度より募集停止
医療経営学科	4	—	—	—	学士（経営学）	—	平成13年度	千葉県八千代市大学町一丁目1番1号	平成20年度より募集停止
英語情報マネジメント学部									
英語情報マネジメント学科	4	70	0	280	学士（経営学）	1.08	平成18年度	千葉県八千代市大学町一丁目1番1号	
観光ビジネス学部									
観光ビジネス学科	4	70	0	280	学士（経営学）	1.15	平成21年度	千葉県八千代市大学町一丁目1番1号	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・認可申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<学校教師学部 中等教育教員養成課程>

(1) 担当教員表

認可時の計画					変更状況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授 (学部長)	嘉部 好修 (64)	平成20年4月	特別活動の理論と方法 教職総合演習 数学科教育法 数学科教材研究 数学科授業研究 卒業論文	兼任	講師	鈴木 豊 (55)	平成23年4月	特別活動の理論と方法	平成22年3月 嘉部好修教授退職による 担当者の変更(22) 平成23年3月 生野金三非常勤講師退職による 担当者の変更(23)
					兼任	教授	大城 嘉規 (54)	平成23年4月	教職実践演習	平成22年4月 教職課程における 「教職総合演習」の科目名変更(22) 平成22年3月 嘉部好修教授退職による担当者の変更 (22)
					兼任	教授	後藤 茂 (55)	平成22年4月	数学科教育法 数学科教材研究 数学科授業研究	平成22年3月 嘉部好修教授退職による 担当者の変更(22)
							後任未定		卒業論文	「卒業論文」は、他に 担当教員が14名いるため、支障 はない。(22)
専	教授	甲田 充彦 (62)	平成20年4月	教職概論 教育コミュニケーション論 卒業論文	専	教授	甲田 充彦 (65)	平成20年4月	教職概論 教育コミュニケーション論 卒業論文	
専	教授	関口 昌昭 (47)	平成22年4月	英語科教材研究 英語科授業研究 卒業論文	専	教授	関口 昌昭 (50)	23 平成22年4 月	英語科教材研究 英語科授業研究 卒業論文	英国出張のため、就任が遅延(23)
専	教授	寺田 信彦 (62)	平成20年4月	教育行政学 卒業論文	専	教授	寺田 信彦 (65)	平成20年4月	教育行政学 卒業論文	
専	教授	西部 遼 (69)	平成20年4月	政治学概論	専	助教	岩田 温 (27)	平成21年4月	政治学概論	平成21年3月 西部遼教授退職による 担当者の変更(21) 平成21年7月 変更書提出予定(21) 平成21年7月教員審査済(22)
専	教授	松井 茂 (60)	平成20年4月	歴史学概論 日本史概説 日本史演習 社会科・地歴科教育法 卒業論文	専	教授	松井 茂 (63)	平成20年4月	歴史学概論 日本史概説 日本史演習 社会科・地歴科教育法 卒業論文	
専	教授	小泉 功 (65)	平成20年4月	教育実習事前事後指導 教育実習 性教育概論 生徒指導事例研究 卒業論文	専	教授	小泉 功 (69)	平成20年4月	教育実習事前事後指導 教育実習 性教育概論 生徒指導事例研究 卒業論文	
専	教授	諏訪 通法 (63)	平成20年4月	環境と人間 生命の科学 生物学概説 生物学演習 分子と細胞の生物学 環境生物学 卒業論文	専	教授	諏訪 通法 (66)	平成20年4月	環境と人間 生命の科学 生物学概説 生物学演習 分子と細胞の生物学 環境生物学 卒業論文	
専	教授	角田 史幸 (57)	平成20年4月	哲学概論 倫理学概論 倫理学演習 卒業論文	専	教授	角田 史幸 (60)	平成20年4月	哲学概論 倫理学概論 倫理学演習 卒業論文	
専	教授	中村 克彦 (62)	平成20年4月	教育実践演習Ⅰ 教育実践演習Ⅱ 教育実践演習Ⅲ 教育時事問題研究 学級経営の理論と方法 卒業論文	専	教授	中村 克彦 (65)	平成20年4月	教育実践演習Ⅰ 教育実践演習Ⅱ 教育実践演習Ⅲ 教育時事問題研究 学級経営の理論と方法 卒業論文	
専	教授	前 博之 (61)	平成20年4月	名著講読 国語科教育法 国語科教材研究 国語科授業研究 卒業論文	専	教授	前 博之 (64)	平成20年4月	名著講読 国語科教育法 国語科教材研究 国語科授業研究 卒業論文	
専	教授	吉田 聡 (49)	平成20年4月	英語BⅠ 英語BⅡ 英文法概論 原書講読	専	教授	吉田 聡 (52)	平成20年4月	英語BⅠ 英語BⅡ 英文法概論 原書講読	
専	教授	吉田 英信 (66)	平成20年4月	情報数学 解析学概論 解析学演習 確率論 統計学 卒業論文	専	教授	吉田 英信 (69)	平成20年4月	情報数学 解析学概論 解析学演習 確率論 統計学 卒業論文	

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	榎森 啓元 (42)	平成20年4月	宇宙地球科学 物理学概説 物理学演習 力学 電磁気学 物理学実験 惑星物理学 卒業論文	専	准教授	榎森 啓元 (45)	平成20年4月	宇宙地球科学 物理学概説 物理学演習 力学 電磁気学 物理学実験 惑星物理学 卒業論文	
専	准教授	大野 早苗 (44)	平成20年4月	国語表現法 現代日本語学概論 現代日本語学演習 文章表現法 卒業論文	専	准教授	大野 早苗 (47)	平成20年4月	国語表現法 現代日本語学概論 現代日本語学演習 文章表現法 卒業論文	
専	准教授	田辺 江美子 (53)	平成20年4月	法学概論 日本国憲法 法学演習 卒業論文	専	准教授	田辺 江美子 (56)	平成20年4月	法学概論 日本国憲法 法学演習 卒業論文	
専	准教授	安岡 直 (44)	平成20年4月	政治学演習 卒業論文	専	准教授	安岡 直 (47)	平成20年4月	政治学演習 卒業論文	
専	講師	梅谷 泰子 (33)	平成20年4月	英語B I 英語演習Ⅱ 英米文学概論 英米文学史			(後任未定)		英語B I	平成23年3月 梅谷泰子専任講師、他大学就任により 退職平成23年度より担当者の変更(23) 「英語B I」は、他に担当教員がいる ため支障はない。(23)
					兼任	教授	飯沼 茂樹 (73)	平成23年4月	英語演習Ⅱ	平成23年4月 担当者の変更(23)
					兼任	講師	Sheila Shimizu (59)	平成23年4月	英米文学概論	平成23年4月 担当者の変更(23)
							(後任未定)		英米文学史	「後任未定」平成23年10月から教員 採用予定で公募中(23)
専	講師	岡 敬一郎 (34)	平成20年4月	教育基礎論	専	講師	岡 敬一郎 (37)	平成20年4月	教育基礎論	
専	講師	片岡(小倉)久美 (33)	平成21年4月	自然地理学概説 地誌学概説 自然地理学演習 地誌学演習	専	講師	片岡(小倉)久美 (36)	平成21年4月	自然地理学概説 地誌学概説 自然地理学演習 地誌学演習	
専	講師	後藤 文志 (33)	平成21年4月	代数学演習 幾何学演習 構造化プログラミング 数値計算プログラム	専	講師	後藤 文志 (36)	平成21年4月	代数学演習 幾何学演習 構造化プログラミング 数値計算プログラム	
専	講師	莊 巖 (41)	平成20年4月	海外教育研究	専	講師	莊 巖 (44)	平成20年4月	海外教育研究	
専	講師	鈴木 哲也 (37)	平成21年4月	環境教育論 生物学実験 理科教育法 理科教材研究 理科授業研究	専	講師	鈴木 哲也 (40)	平成21年4月	環境教育論 生物学実験 理科教育法 理科教材研究 理科授業研究	
専	講師	田中 元 (40)	平成20年4月	くらしの化学 化学概説 化学演習 無機化学 有機化学 化学実験	専	准教授 講師	田中 元 (43)	平成20年4月	くらしの化学 化学概説 化学演習 無機化学 有機化学 化学実験	「昇格」(講師から准教授へ) 平成23年7月 変更書(AC)提出予定(23)
専	講師	西村 治 (33)	平成20年4月	代数学概論 幾何学概論 位相幾何学概論 位相幾何学演習	専	准教授 講師	西村 治 (36)	平成20年4月	代数学概論 幾何学概論 位相幾何学概論 位相幾何学演習	「昇格」(講師から准教授へ) 平成23年7月 変更書(AC)提出予定(23)
専	講師	花屋 哲郎 (41)	平成20年4月	教育心理学 発達心理学 生徒指導・進路指導の理論と方法 教育相談・カウンセリングの理論と方法	専	准教授	花屋 哲郎 (44)	平成20年4月	教育心理学 発達心理学 生徒指導・進路指導の理論と方法 教育相談・カウンセリングの理論と方法	「昇格」(講師から准教授へ) 平成22年7月 変更書(AC)提出予定(22) 平成22年7月教員審査済(23)
専	講師	藤井 真生 (34)	平成21年4月	外国史概説 外国史演習	専	准教授 講師	藤井 真生 (37)	平成21年4月	外国史概説 外国史演習	「昇格」(講師から准教授へ) 平成23年7月 変更書(AC)提出予定(23)
					専	教授	近藤 公一 (54)	平成21年4月	外国史概説 外国史演習	平成21年4月から 教育課程の充実をはかるため、 専任担当を追加 平成20年7月教員審査済(21)
専	講師	横溝 博 (36)	平成20年4月	国文学概論 国文学演習 国文学講読	兼任	講師	上野 美穂子 (43)	平成22年4月	国文学概論 国文学演習 国文学講読	平成22年3月 横溝博専任講師、他大学就任により 退職平成22年度より担当者の変更(22)

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	吉田 和史 (39)	平成20年4月	英語D I 英語D II 英語学概論 英語史 時事英語	専	講師	吉田 和史 (42)	平成20年4月	英語D I 英語D II 英語学概論 英語史 時事英語	
兼任	教授	池原 厚志 (54)	平成20年4月	エネルギーと環境 教育課程論 地学演習	兼任	教授	池原 厚志 (57)	平成20年4月	エネルギーと環境 教育課程論 地学演習	
兼任	教授	吉川 幸次 (59)	平成20年4月	微分積分学 数学	兼任	教授	吉川 幸次 (62)	平成20年4月	微分積分学 数学	
兼任	教授	大城 嘉規 (51)	平成21年4月	道德教育の研究	兼任	教授	大城 嘉規 (54)	平成21年4月	道德教育の研究	
兼任	教授	大庭 由子 (56)	平成20年4月	英語演習VI 文化人類学 異文化理解概論	兼任	教授	大庭 由子 (59)	平成20年4月	英語演習VI 文化人類学 異文化理解概論	
兼任	教授	川島 淳夫 (53)	平成20年4月	スポーツ演習 I スポーツ演習 II 健康スポーツ科学	兼任	教授	川島 淳夫 (56)	平成20年4月	スポーツ演習 I スポーツ演習 II 健康スポーツ科学	
兼任	教授	島田 範正 (62)	平成20年4月	時事問題研究	専	助教	岩田 温 (27)	平成22年10月	時事問題研究	平成22年3月 島田範正兼任教授辞任のため 平成22年10月より担当者の変更(22) 平成22年7月 担当科目変更書(AC)提出予定 (22)
兼任	教授	鈴木 克明 (75)	平成21年4月	福祉教育論	兼任	教授	鈴木 克明 (78)	平成21年4月	福祉教育論	
兼任	教授	冷川 政利 (61)	平成20年4月	音楽文化論	兼任	教授	冷川 政利 (64)	平成20年4月	音楽文化論	
兼任	教授	マークス 寿子 (72)	平成20年4月	比較文化論 異文化コミュニケーション論	兼任	教授	吉川 幸次 (62)	平成22年4月	比較文化論	平成22年3月 マークス寿子兼任教授退職のため 平成22年度より担当者の変更(22)
					兼任	講師	小島 裕紀 (37)	平成23年10月	異文化コミュニケーション論	「後任未定」平成22年10月から教員 採用予定で公募中(22) 平成23年10月 担当者変更(23)
兼任	教授	宮澤 信一郎 (58)	平成20年4月	コンピュータ・ネットワーク I コンピュータ・ネットワーク II	兼任	教授	宮澤 信一郎 (61)	平成20年4月	コンピュータ・ネットワーク I コンピュータ・ネットワーク II	
兼任	准教授	川口 良 (49)	平成20年4月	国語学概論 国語学演習 音声表現法	兼任	講師	永澤 済 (31)	平成23年4月	国語学概論 国語学演習	平成22年3月 川口良兼任教授退職のため 平成22年度より担当者の変更(22) 平成23年3月 生野金三非常勤講師退職により 平成23年度より担当者の変更(23)
					兼任	講師	坂本 充 (60)	平成22年10月	音声表現法	平成22年3月 川口良兼任教授退職のため 平成22年度より担当者の変更(22) 「後任未定」平成22年10月から教員 採用予定で公募中(22) 平成22年10月 坂本充兼任講師を採用(23)
兼任	准教授	Paul Conroy (43)	平成20年4月	英語A I 英語A II 英語演習IV 英語ディベート	兼任	准教授	Paul Conroy (46)	平成20年4月	英語A I 英語A II 英語演習IV 英語ディベート	
兼任	准教授	宮崎 瑞之 (50)	平成20年4月	英語音声学 英語スピーチコミュニケーション 論 英語科教育法	兼任	准教授	宮崎 瑞之 (53)	平成20年4月	英語音声学 英語スピーチコミュニケーション 論 英語科教育法	
兼任	講師	北 和文 (29)	平成20年4月	英語B I 英語B II 英語演習V 情報英語 インターネット英語	兼任	准教授	芝田 征二 (66)	平成22年4月	英語B I 英語B II インターネット英語	平成22年3月 北和文兼任講師退職のため 平成22年度より担当者の変更(22)
					兼任	准教授	Paul Conroy (46)	平成23年4月	英語演習V	平成22年3月 北和文兼任講師退職のため 平成22年度より担当者の変更(22) 「後任未定」平成22年10月から教員 採用予定で公募中(22) 平成23年4月 担当者の変更(23)
					兼任	講師	大塚 時雄 (40)	平成23年4月	情報英語	平成22年3月 北和文兼任講師退職のため 平成22年度より担当者の変更(22) 「後任未定」平成22年10月から教員 採用予定で公募中(22) 平成23年4月 担当者の変更(23)
兼任	講師	堀井 光俊 (30)	平成20年4月	社会学概論	兼任	講師	堀井 光俊 (33)	平成20年4月	社会学概論	
兼任	講師	Gaby Benthien (39)	平成20年4月	英語C I 英語C II 英語演習 I 比較地域圏研究(ドイツ)	兼任	准教授 講師	Gaby Benthien (43)	平成20年4月	英語C I 英語C II 英語演習 I 比較地域圏研究(ドイツ)	

認可時の計画					変更状況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	清水 伸彦 (32)	平成20年4月	オペレーティング・システム	兼任	講師	金子 英樹 (40)	平成20年10月	オペレーティング・システム	平成20年7月 清水伸彦兼任講師退職による 担当者の変更(21)
兼任	講師	田島 博之 (39)	平成20年4月	インターネット・リテラシー ウェブデザイン コンピュータ概論	兼任	講師	田島 博之 (42)	平成20年4月	インターネット・リテラシー ウェブデザイン コンピュータ概論	
兼任	講師	加藤 敏 (56)	平成21年4月	漢文学概論 漢文学講読	兼任	講師	齋藤 聡 (32)	平成23年4月	漢文学概論 漢文学講読	平成23年3月 加藤敏兼任講師退職による 担当者の変更(23)
兼任	講師	森川 輝紀 (63)	平成21年4月	日本教育史	兼任	講師	林 一夫 (60)	平成22年10月	日本教育史	平成22年3月 森川輝紀兼任講師退職による 担当者の変更(22) 「後任未定」平成22年10月から 非常勤教員採用予定で公募中(22) 平成22年10月 林一夫兼任講師を採用(23)
兼任	講師	亦木 一彦 (61)	平成22年4月	社会科・公民科教育法	兼任	講師	浅田 博 (61)	平成22年10月	社会科・公民科教育法	平成22年3月 亦木一彦兼任講師就任辞退(22) 「後任未定」平成22年10月から 非常勤教員採用予定で公募中(22) 平成22年10月 浅田博兼任講師を採用(23)
兼任	講師	Lynne Bowey (40)	平成20年4月	英語A I 英語A II 比較地域圏研究(フランス)	兼任	講師	Lynne Bowey (43)	平成20年4月	英語A I 英語A II 比較地域圏研究(フランス)	
兼任	講師	Nanette Park (44)	平成21年4月	英語C I 英語C II	兼任	講師	Nanette Park (47)	平成21年4月	英語C I 英語C II	
兼任	講師	Sheila Shimizu (56)	平成20年4月	英語A I 英語A II 英語C I 英語C II	兼任	講師	Sheila Shimizu (59)	平成20年4月	英語A I 英語A II 英語C I 英語C II	
兼任	講師	浅野 恵治 (39)	平成22年4月	教育の方法と技術	兼任	講師	折本 綾子 (40)	平成23年4月	教育の方法と技術	平成23年3月 浅野恵治非常勤講師退職、 担当者の変更(23)
					兼任	講師	折本 綾子 (40)	平成23年4月	初等教育の方法と技術	平成22年4月から 小学校免許課程の科目を追加(22) 平成23年3月 浅野恵治非常勤講師退職、 担当者の変更(23)
兼任	講師	阿部 幸 (29)	平成20年4月	地学概説 地質鉱物学 地学実験	兼任	講師	戸丸 仁 (34)	平成21年10月	地学概説 地質鉱物学 地学実験	平成21年3月 阿部幸兼任講師退職による 担当者の変更(21)
兼任	講師	折本 綾子 (37)	平成20年4月	マルチメディア・テクノロジーI マルチメディア・テクノロジーII コンピュータ・プレゼンテーション	兼任	講師	折本 綾子 (40)	平成20年4月	マルチメディア・テクノロジーI マルチメディア・テクノロジーII	
					兼任	講師	清水 伸彦 (35)	平成20年4月	コンピュータ・プレゼンテーション	より内容を充実させるため、 兼任教員を配置② 平成20年7月退職(21)
					兼任	講師	金子 英樹 (40)	平成21年4月	コンピュータ・プレゼンテーション	平成20年7月 清水伸彦講師退職による 担当者の変更(21)
兼任	講師	神余 崇子 (36)	平成20年4月	コンピュータ・リテラシーI コンピュータ・リテラシーII データベースI データベースII	兼任	講師	大塚 時雄 (40)	平成20年4月	コンピュータ・リテラシーI コンピュータ・リテラシーII	平成19年3月 神余崇子兼任講師退職による 担当者の変更②
					兼任	准教授	富樫 慎一 (62)	平成20年4月	データベースI データベースII	
兼任	講師	神田 真岐 (35)	平成21年4月	英語B II 英語D I 英語D II	兼任	講師	神田 真岐 (38)	平成21年4月	英語B II 英語D I 英語D II	
兼任	講師	北田 佳子 (40)	平成21年4月	英語D I 英語D II 英語意味論	兼任	講師	北 和文 (32)	平成21年4月	英語D I 英語D II	平成21年3月 北田佳子兼任講師退職による 担当者の変更(21) 「英語D I」「英語D II」は、他に 担当教員が2名いるため、支障 はない。(21) 平成22年3月 北和文兼任講師、他大学への就任 により退職、担当者の変更(22)
					兼任	准教授	宮崎 瑞之 (53)	平成23年10月	英語意味論	「後任未定」平成22年10月から非常勤 教員採用予定で公募中(22) 平成23年10月 担当者の変更(23)

認可時の計画					変更状況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	杵鞭 広美 (34)	平成21年4月	発達障害児の心と行動			(後任未定)		発達障害児の心と行動	平成22年3月 杵鞭広美兼任講師、他大学への就任により退職、担当者の変更(22) 平成23年3月 大鹿綾兼任講師退職により、担当教員変更(23) 「後任未定」平成23年10月から教員採用予定で公募中(23)
兼任	講師	杉本 進一 (46)	平成20年4月	人文地理学概説 人文地理学演習	兼任	講師	杉本 進一 (49)	平成20年4月	人文地理学概説 人文地理学演習	
兼任	講師	鈴木 和子 (70)	平成21年4月	日本文化論(茶道)	兼任	講師	鈴木 和子 (73)	平成21年4月	日本文化論(茶道)	
兼任	講師	爪田 一寿 (33)	平成20年4月	宗教と人間	兼任	講師	三津間 康幸 (33)	平成23年4月	宗教と人間	平成23年3月 爪田一寿非常勤講師退職により、担当者変更(23)
兼任	講師	丁 宗鉄 (60)	平成20年4月	食生活と健康	兼任	講師	飯島 和子 (60)	平成22年10月	食生活と健康	平成22年9月 丁宗鉄兼任講師担当科目辞退により、担当者変更(23)
兼任	講師	中野 宏 (45)	平成20年4月	経済学概論 経済学演習	兼任	講師	中野 宏 (48)	平成20年4月	経済学概論 経済学演習	
兼任	講師	根橋 宏光 (49)	平成20年4月	武道	兼任	講師	根橋 宏光 (52)	平成20年4月	武道	
兼任	講師	野間 香与子 (51)	平成20年4月	英語演習Ⅲ	兼任	講師	野間 香与子 (54)	平成20年4月	英語演習Ⅲ	
兼任	講師	福井 淳哉 (27)	平成20年4月	書写	兼任	講師	土屋 明美 (34)	平成22年10月	書写	平成22年9月 福井淳哉兼任講師退職により、担当者変更(23)
兼任	講師	福田 克実 (30)	平成20年4月	武道	兼任	准教授	中村 修吾 (54)	平成22年10月	武道	平成22年9月 福田克実兼任講師退職により、担当者変更(23)
兼任	講師	宮川 めぐみ (38)	平成20年4月	国際関係論	兼任	講師	宮川 めぐみ (42)	平成20年4月	国際関係論	
兼任	講師	武藤 正義 (32)	平成20年4月	コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ	兼任	講師	和嶋雄一郎 (31)	平成20年4月	コンピュータ・リテラシーⅠ コンピュータ・リテラシーⅡ	平成19年3月 武藤正義兼任講師退職による担当者の変更(20) 平成20年9月退職 「コンピュータ・リテラシーⅠとⅡ」は他に担当教員が1名いるため、支障はない。(21)
兼任	講師	森下 剛 (33)	平成20年4月	心理学概論 青年心理と非行の心理	兼任	講師	大藪 博記 (30)	平成22年4月	心理学概論 青年心理と非行の心理	平成22年3月 森下剛兼任講師退職のため 平成22年度より担当者の変更(22)
兼任	講師	渡部 周子 (33)	平成20年4月	美術文化論	兼任	講師	渡部 周子 (36)	平成20年4月	美術文化論	
					専	教授	飯塚 雄三 (64)	平成21年4月	生活 生活科教育法 初等道徳教育論 初等生徒指導論	平成21年4月から小学校免許課程の設置により科目を追加 平成20年9月教員審査済(21)

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					専	教授	伊藤 保幸 (63)	平成21年4月	算数	平成21年4月から小学校免許課程の設置により科目を追加 平成20年9月教員審査済 (21)
					専	教授	今村 久二 (62)	平成21年4月	初等国語科教育法	平成21年4月から小学校免許課程の設置により科目を追加 平成20年9月教員審査済 (21)
					専	教授	岡本 昌己 (58)	平成21年4月	図画工作 図画工作科教育法 初等教育課程論	平成21年4月から小学校免許課程の設置により科目を追加 平成20年9月教員審査済 (21)
					専	教授	押尾 賢一 (59)	平成21年4月	社会 初等社会科教育法	平成21年4月から小学校免許課程の設置により科目を追加 平成20年9月教員審査済 (21)
					専	教授	押味 忠雄 (62)	平成21年4月	理科 初等理科教育法 初等特別活動論	平成21年4月から小学校免許課程の設置により科目を追加 平成20年9月教員審査済 (21)
					専	教授	桑原 隆 (66)	平成21年4月	国語 初等国語科教育法	平成21年4月から小学校免許課程の設置により科目を追加 平成20年9月教員審査済 (21) 平成22年3月退職 (22)
					専	教授	杉山 雅勇 (63)	平成21年4月	体育 体育科教育法	平成21年4月から小学校免許課程の設置により科目を追加 平成20年9月教員審査済 (21)
					専	教授	深見 眞一 (63)	平成21年4月	算数 算数科教育法	平成21年4月から小学校免許課程の設置により科目を追加 平成20年9月教員審査済 (21)
					専	准教授	大串 すみ系 (63)	平成21年4月	家庭 家庭科教育法	平成21年4月から小学校免許課程の設置により科目を追加 平成20年9月教員審査済 (21) 平成22年3月退職 (22)
					専	講師	桐原 礼 (35)	平成21年4月	音楽 音楽科教育法	平成21年4月から小学校免許課程の設置により科目を追加 平成20年9月教員審査済 (21) 「昇格」(助教から講師へ) 平成22年7月 変更書(AC)提出予定 (22) 平成22年7月教員審査済 (23)
					兼任	教授	倉持 眞由美 (61)	平成22年4月	家庭 家庭科教育法	平成22年3月 大串すみ系准教授退職のため平成22年度より担当者の変更(22)

(注) ・認可申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。

・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

・年齢は、「認可時の計画」には開設時現在の満年齢(科目就任時の満年齢ではありません)を、「変更状況」には平成23年5月1日現在の満年齢を記入してください。

・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

また、「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出し、教員判定の結果が出ていない場合は「〇年〇月変更書提出済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

・専任教員を変更する場合は、当該専門教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備 考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
13	4	12	0	29	0	19	8	7	1	35	0	小学校免許課程認可による専任教員の増加あり。(21)
(12)	(4)	(8)	(0)	(24)	(0)	[6]	[4]	[△5]	[1]	[6]	[0]	

(注) ・「認可時の計画」には、設置認可時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置認可時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番号	職位	専任教員名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	講師	梅谷泰子	他大学就任による辞任
2			
3			

(注) ・設置認可時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>○大学の所見 自己都合による退職のため、やむを得ないと判断。</p> <p>○学生への周知方法 学生には、ガイダンス時に学部長並びに科目教員担当変更を告げ、後任教員について周知した。</p>
--

(注) ・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
<p style="text-align: center;">認 可 時 (平成19年12月5日)</p>	<p>秀明大学総合経営学部企業経営学科の入学定員超過の是正に努めること。</p>	<p>平成20年度の総合経営学部企業経営学科の入学者数は138人（定員120人）であり、昨年度1.46倍であった定員超過率は、歩留率（入学者/合格者）を60%と予測した結果、1.15倍と改善された。また、4年間の平均超過率は、昨年度1.35倍であったが、今年度は1.18倍となり、こちらも改善された。(20)</p> <p>平成21年度の総合経営学部企業経営学科の入学者数は101人（定員90人）であり、定員超過率は1.12倍となった。昨年度の定員超過率は1.15倍であり改善された。(21)</p> <p>平成22年度の総合経営学部企業経営学科の入学者は116人（定員90人）であり、定員超過率は1.28倍となった。また、4年間の平均超過率は1.25倍となった。(22)</p> <p>平成23年度の総合経営学部企業経営学科の入学者数は85人（定員90人）であり、定員超過率は0.94倍であった。これにより、4年間の平均超過率は1.12倍となった。(23)</p>	<p>来年度の入試合否判定においては、今年度の歩留率を踏まえて、さらにより正確に入学者数を予測をし、引き続き、超過率1.00倍を目指して是正に努力する所存である。(20)</p>
<p>設置計画履行状況 調 査 時 (21年1月)</p>	<p>該当なし</p>		
<p>設置計画履行状況 調 査 時 (22年2月)</p>	<p>該当なし</p>		
<p>設置計画履行状況 調 査 時 (23年2月)</p>	<p>学校教師学部中等教育教員養成課程の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、今後の定員の在り方について検討すること。</p>	<p>平成23年度入試における学校教師学部中等教育教員養成課程の入学者数は119人（定員250人）であり、定員超過率は0.47倍であった。</p>	<p>高校訪問体制の見直し、広報のさらなる強化、修学支援体制（奨学金）の充実等により学生確保に努める。さらに、平成24年度から初等教育学科を新設して初等教育に興味関心のある学生を新たに募集する計画である。なお、その定員には現在の中教育教員養成課程の入学定員250人のうち、100人を当てる予定である。(23)</p>

- (注) ・ 「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
 - ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<学校教師学部 中等教育教員養成課程>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど																																								
<p>①教員以外の職員の概要</p> <table border="1"> <tr> <td>事務職員</td> <td>専任 20</td> <td>兼任 8</td> <td>計 28</td> </tr> <tr> <td>技術職員</td> <td>専任 1</td> <td>兼任 4</td> <td>計 5</td> </tr> <tr> <td>図書館専門職員</td> <td>専任 1</td> <td>兼任 2</td> <td>計 3</td> </tr> <tr> <td>その他の職員</td> <td>専任 1</td> <td>兼任 8</td> <td>計 9</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>専任 23</td> <td>兼任 22</td> <td>計 45</td> </tr> </table>	事務職員	専任 20	兼任 8	計 28	技術職員	専任 1	兼任 4	計 5	図書館専門職員	専任 1	兼任 2	計 3	その他の職員	専任 1	兼任 8	計 9	計	専任 23	兼任 22	計 45	<table border="1"> <tr> <td>事務職員</td> <td>専任 14</td> <td>兼任 4</td> <td>計 18</td> </tr> <tr> <td>技術職員</td> <td>専任 1</td> <td>兼任 4</td> <td>計 5</td> </tr> <tr> <td>図書館専門職員</td> <td>専任 1</td> <td>兼任 2</td> <td>計 3</td> </tr> <tr> <td>その他の職員</td> <td>専任 1</td> <td>兼任 12</td> <td>計 13</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>専任 17</td> <td>兼任 22</td> <td>計 39</td> </tr> </table> <p>経営基盤の強化を目的に事務局組織を見直し、組織を再編制した。学生の教育活動に直接関わらない学生募集担当職員を中心に人員整理、配置転換を行なった。</p> <p>学生募集は昨年から全教職員が高校訪問やオープンキャンパスを実施する体制に移行しており、支障はない。(20)</p>	事務職員	専任 14	兼任 4	計 18	技術職員	専任 1	兼任 4	計 5	図書館専門職員	専任 1	兼任 2	計 3	その他の職員	専任 1	兼任 12	計 13	計	専任 17	兼任 22	計 39
事務職員	専任 20	兼任 8	計 28																																						
技術職員	専任 1	兼任 4	計 5																																						
図書館専門職員	専任 1	兼任 2	計 3																																						
その他の職員	専任 1	兼任 8	計 9																																						
計	専任 23	兼任 22	計 45																																						
事務職員	専任 14	兼任 4	計 18																																						
技術職員	専任 1	兼任 4	計 5																																						
図書館専門職員	専任 1	兼任 2	計 3																																						
その他の職員	専任 1	兼任 12	計 13																																						
計	専任 17	兼任 22	計 39																																						
<p>②選抜方法と選抜体制</p> <table border="1"> <tr> <td>地区別入試</td> <td>定員150人</td> </tr> <tr> <td>札幌、仙台、千葉、名古屋、大阪、広島、福岡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般入試Ⅰ期</td> <td>定員50人</td> </tr> <tr> <td>一般入試Ⅱ期</td> <td>定員25人</td> </tr> <tr> <td>一般入試Ⅲ期</td> <td>定員25人</td> </tr> </table>	地区別入試	定員150人	札幌、仙台、千葉、名古屋、大阪、広島、福岡		一般入試Ⅰ期	定員50人	一般入試Ⅱ期	定員25人	一般入試Ⅲ期	定員25人	<table border="1"> <tr> <td>地区別入試 (A0入試)</td> <td>定員150人</td> </tr> <tr> <td>仙台、千葉、広島、福岡</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般入試Ⅰ期</td> <td>定員100人</td> </tr> <tr> <td>一般入試Ⅱ期</td> <td>定員100人</td> </tr> <tr> <td>奨学生選抜特別入試</td> <td>定員150人</td> </tr> </table> <p>地区別入試 (A0入試) 会場のうち、札幌、名古屋、大阪会場の応募者が0人であったため、会場を閉鎖した。</p> <p>また、地区別入試 (A0入試) での合格者が35名と少なかったため、一般入試Ⅰ期の募集定員を50人から100人に、Ⅱ期も25人から100人へと増員した。一般入試Ⅱ期までの合格者は93名であったため、一般入試Ⅲ期は奨学生選抜特別入試 (定員150人) として実施した。</p> <p>最終的な受験者数は186人、合格者110人、入学者67人であった。</p> <p>今年度の状況を踏まえて、来年度入試は次のとおり計画している。</p> <p>推薦入試 (指定校)</p> <p>A0入試</p> <p>一般入試 (センター利用)</p> <p>一般入試Ⅰ期</p> <p>一般入試Ⅱ期</p> <p>一般入試Ⅲ期</p> <p>(それぞれの募集定員は現在検討中) (20)</p>	地区別入試 (A0入試)	定員150人	仙台、千葉、広島、福岡		一般入試Ⅰ期	定員100人	一般入試Ⅱ期	定員100人	奨学生選抜特別入試	定員150人																				
地区別入試	定員150人																																								
札幌、仙台、千葉、名古屋、大阪、広島、福岡																																									
一般入試Ⅰ期	定員50人																																								
一般入試Ⅱ期	定員25人																																								
一般入試Ⅲ期	定員25人																																								
地区別入試 (A0入試)	定員150人																																								
仙台、千葉、広島、福岡																																									
一般入試Ⅰ期	定員100人																																								
一般入試Ⅱ期	定員100人																																								
奨学生選抜特別入試	定員150人																																								

	<p>推薦入試（指定校） 定員 50人</p> <p>A〇入試 定員 30人</p> <p>センター試験利用入試A日程 定員 40人</p> <p>センター試験利用入試B日程 定員 20人</p> <p>一般入試Ⅰ期 定員 40人</p> <p>一般入試Ⅱ期 定員 40人</p> <p>一般入試Ⅲ期 定員 20人</p> <p>一般入試Ⅳ期 定員 10人</p> <p>(23)</p>
③小学校教員免許課程認定を計画	平成20年12月24日小学校教員免許課程の認定を受けた。(21)

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>平成18年度より、秀明大学ファカルティ・ディベロプメント委員会を設置し、教員の教育研究活動の向上ならびに能力開発に関して検討を行い、その質的充実を図ることを目的として活動している。</p> <p>規程は次のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">秀明大学ファカルティ・ディベロプメント委員会規程</p> <p>第1条（目的） 秀明大学の教員の教育研究活動の向上・能力開発に関して検討を行い、その質的充実を図ることを目的として、ファカルティ・ディベロプメント委員会（「FD委員会」）を置く。</p> <p>第2条（組織） 本委員会は、委員長ならびに委員及び事務職員をもって構成する。</p> <p>2 前項の委員長及び委員等は、毎年度、学長がこれを任命する。</p> <p>3 学長が必要と認めたときは副委員長を置くことができる。</p> <p>第3条（任期） 委員の任期は1か年とする。ただし、再任を妨げない。</p> <p>第4条（運営） 本委員会は、委員長が招集し、議長となる。</p> <p>2 委員長が必要と認められた場合は、委員以外の教職員の出席を求め、意見を聴取することができる。</p> <p>第5条（審議事項） 本委員会は、次の事項を審議する。</p> <p>(1) 教育研究活動改善の方策に関する事項</p> <p>(2) 初任者及び現任者の研修計画の立案・実施に関する事項</p> <p>(3) 学生による授業評価の実施、結果分析及びフィードバックに関する事項</p> <p>(4) その他、FD活動に関する事項</p> <p>第6条（答申） 委員長は、本委員会の審議結果を学長に答申しなければならない。</p> <p>第7条（実施事項の決定） 前条の答申内容の実施については、教授会の議を経て学長が決定する。</p> <p>第8条（規程の改廃） この規程の改廃は、教授会の議を経て学長が行う。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>FD委員は原則として毎年度はじめに学長より任命され、委員会は、最低毎月1回開催されている。現在、委員の構成は、FD委員長、副学長、各学部長、教務部長、学生部長、就職部長、事務局長の幹部教職員と一般教員、教務課職員からなり、原則委員全員が毎回出席している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>委員会の審議事項は次のとおりである。</p> <p>(1) 教育研究活動改善の方策に関する事項</p> <p>(2) 初任者及び現任者の研修計画の立案・実施に関する事項</p> <p>(3) 学生による授業評価の実施、結果分析及びフィードバックに関する事項</p> <p>(4) その他、FD活動に関する事項</p>	
---	--

② 実施状況

a 実施内容

- (1) 教員研究発表会
- (2) 授業評価アンケート
- (3) シラバスの改善
- (4) 年2回の教員研修会
- (5) 新任教員研修
- (6) 教員個人の自己点検評価（PDCA）活動

b 実施方法

(1) 教員研究発表会

平成18年度より、専任教員全員が毎年最低1回の研究発表を行っている。FD委員会が毎年度初めに年間の発表スケジュールを立て、それに従って、休業期間を除くほぼ毎週、全教員が参加して行う。

発表内容は、最新の研究成果、講義方法の工夫等に関するもので、発表後、全教員で質疑応答、意見交換を行い、教育研究活動の質の向上を目指している。平成19年度には、いくつかの発表内容を秀明出版会が公刊している月刊「秀明」に掲載した。

(2) 授業評価アンケート

平成18年度より、FD委員会が授業アンケートを実施し、その結果を検証している。FD委員長は、明らかになった問題点や学生からの要望事項を教員連絡会でフィードバックし、授業の改善を促している。

また、専任、非常勤を問わず、学生の満足度の低い授業担当者がいる場合には、FD委員長が学長に報告し、学長は必要に応じて本人に速やかに改善するよう命じている。

(3) シラバスの改善

平成19年度には、FDの一環として全ての講義について、毎時間ごとの詳細シラバス（半期15回）を作成し、計画的な講義の実施と内容の充実に努めた。作成に当たっては、FD委員会のもとにシラバス検討委員会が置かれ、複数の教員が内容の点検を行った。今年度も引き続き毎時間のシラバスの内容について検討をし、改善に努めている。

(4) 年2回の教員研修会

年度初めと夏期休業中の年2回、全教員による研修会を開催している。年度初めには、学長はじめ各分掌の責任者から前年度の結果報告と反省、今年度の目標や計画が示され、それについての意見交換、討議が行われる。夏期研修会では、教育研究の成果を挙げている教員の実践報告が行われている。

(5) 新任教員研修

毎年度初めにFD委員が中心となって新任者の研修を実施している。主な内容は、次のとおりである。

- (1) 本学の建学の精神、教育方針、特色
- (2) 秀明大学ならびに各学部の目的
- (3) 講義ならびに学生指導上の留意点
- (4) 担任制度と学生情報システム
- (5) 諸規定（学則その他）

(6) 教員個人の自己点検評価（PDCA）活動

次の項目について、年度初めに目標・計画を、6月、9月、12月には中間報告、年度末には最終報告をさせるPDCA活動を実施し、教育研究活動の活性化を図っている。

<幹部教員>

- (1) 学生募集
- (2) 就職指導
- (3) インターンシップ
- (4) 単位取得指導
- (5) 出席率
- (6) 資格取得
- (7) 学生満足度（アンケート活動）
- (8) 大学祭（学生活動）
- (9) 教員研究発表

(10) 図書館利用

<教員>

- (1) 学生の教育指導（授業、ゼミ、資格取得、生活指導、担任指導、その他）
- (2) 大学への貢献（校務分掌、学生募集）
- (3) 研究活動
- (4) 社会貢献
- (5) その他

c 実施状況（教員の参加状況含む）

- (1) 教員研究発表会…休業期間を除いてほぼ毎週、全専任教員参加
- (2) 授業評価アンケート…年1回、専任・非常勤問わず全授業担当者対象
- (3) シラバスの改善…前期、後期各1回。専任・非常勤問わず全授業担当者
- (4) 年2回の教員研修会…年度初めと夏期休業中。全専任教員参加
- (5) 新任教員研修…年度初め。新任教職員参加

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

前述のとおり、授業アンケート、全教員による研究発表会、毎時間の詳細シラバスの作成等により、全教員が授業の改善に積極的に取り組んでいる。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙①のとおり

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・毎年度7月1日

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を本学ホームページ上に公開。

③ 認証評価を受ける計画

・平成21年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審し、認定された。

(注) ・ 設置認可時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

① 設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (平成20年4月18日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.shumei-u.ac.jp/001daigaku/index_info.htm)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成20年5月7日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.shumei-u.ac.jp/001daigaku/index_info.htm)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp
件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。